



# 学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 令和8年3月23日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

学校教育基本目標

すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を

重点目標

総合的視点に立つ教育の推進

人権尊重に徹した教育の実践

「探究と対話」をもとに学び続ける教職員へ

信頼に応える学校園づくり

学校園・家庭・地域の協働



## 令和7年度 東大阪市教育フォーラム

～本気で夢中になる教育・学びについて考える～

1月24日(土)に東大阪クリエイターズプラザにて、東大阪市教育フォーラムを開催し、本市の学校教育における重点的な取組みと、その成果と課題について共有することができました。

### 【第I部】実践報告・パネルディスカッション

「学びの深化 STEAM 探究教育3年間を経て」

「子どもの探究的な学びをより充実させるために」

(市立学校園教職員・市教委指導主事)

#### 参加者の感想

- 幼・小・中での探究は素晴らしい取り組みをされていることを実感しました。導入や動機づけをどのようにしているか知りたいと思いました。(教職員より)
- 就学前の学びが小学校以降のどのような学びに繋がっているのかということが、とてもよく分かる報告でした。実践を通して、就学前教育における環境構成の大切さがよく分かる報告でした。(教職員より)
- 幼児教育に携わっておられる先生方が、遊びの中に色々なことを考えて取り組まれていることを知ることができました。(保護者より)

教職員(市立幼稚園・小学校)による報告



教職員(市立幼稚園・小学校)によるパネルディスカッション



### 【第II部】講演【オンライン】

「授業者、保育者が探究を深める実践において大切にしたいこと」

【今井むつみ教育研究所 所長 今井むつみ 先生

(慶応義塾大学 名誉教授)】

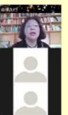
今井むつみ先生による講演【オンライン】

#### 参加者の感想

- 生きた知識とは何か、誤った概念や間違いは悪いことではなく、自分で気づいて修正することが大事というところが、印象に残りました。(教職員より)
- やはり自分で学ばないと、与えられる知識だけでは学びにはならないと思いました。様々な体験から自ら理解をしていく。教師はその環境を整えることが大切だと思いました。(教職員より)
- 生きた知識とは何か、またどのような思考力が必要なのかが非常によく分かりました。経験と知識をつなぐことは、AIにはできないというのが印象的です。(教職員より)
- 自分の知識から仮説を作り、検討し、絞り込むことが必要。自分の知識から仮説を作り、検討し、絞り込んでいくというお話が子どもたちの学習の習得にも通じるんだなと思いました。(保護者より)

これまで一貫して探究してきたテーマ

- 子どもはことばをどう覚えるのか
  - ・「生きた知識」とは何か
  - ・学びとは何か
  - ・思考力とは何か
  - ・読解力とは何か
- 「生きた知識」はどう創ることができるのか



# 生徒会交流会

(東大阪市議会議場にて)

令和8年2月3日(火)、生徒会交流会が東大阪市議会議場にて開催されました。

生徒会交流会は、各校の生徒会役員が中学校区間のつながりを築き、東大阪全体のチーム力を高めるために毎年開催されています。今年度は市内全中学校と日新高校の生徒会役員に加え、孔舎衛小学校・孔舎衛東小学校児童会役員も参加しました。

第1部は、児童生徒がワールドカフェ形式での対話を通して、各校における児童会・生徒会の取組みを交流しました。

第2部の前半は、今年度本市の代表として「大阪府生徒会サミット」に参加した弥刀中学校生徒会から、サミットの報告があり、次に、孔舎衛中学校区の発表では、児童会と生徒会が連携した「給食ビンゴ」や「季節やいろいろな国のあいさつを取り入れたあいさつ運動」などの実践報告がありました。主体的に取り組んでいる子どもたちの様子がわかるいい発表内容でした。

後半は、中学校5校から、子どもたちが「めざす子ども像」について主体的に考え、「アイシティブロジェクト」「いいちょこみつけ」「クリーン作戦」「募金活動」「学校を科学する」など、生徒会が中心となり児童会も巻き込んだ取組みについて、それぞれの工夫が見られた発表となっていました。生徒たちは、各校の発表に対して積極的に質疑を行い、例年以上に活発な生徒会交流会となりました。

参加した児童生徒からは、「他校の生徒と交流し、取組みを知ることができた。」「議場での発表は緊張した。」「他校の発表を聞くことができて参考になった。」「学んだことを自校の取組みに生かしたい。」などの感想が聞かれました。



第1部 ワールドカフェの様子



第2部 野田市長からの挨拶



第2部 孔舎衛中学校区の発表



みんなで集合写真!

## 巡回相談・巡回指導を行っています

園児・児童・生徒が円滑に学校園生活を過ごせるよう、『東大阪市立障害児者支援センター(レピラ)』に協力いただき実施する事業です。



	巡回相談	巡回指導
事業の概要	東大阪市立障害児者支援センターの児童指導員が、園児・児童・生徒の学校園での様子(授業・保育等)を観察し、学校園における指導をはじめ、子どもの発達障害に係る特性をふまえた個別の支援内容や環境づくり等について学校園や保護者と共に考え、助言を行います。 また、学校園の支援体制の見直しや、学校園全体の支援の手立てを探るきっかけとするなど、「先生方への支援」も目的の1つとしています。	東大阪市立障害児者支援センターの理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)が、園児・児童・生徒の肢体の機能や言語面等の課題に応じた生活介助や支援方法、また機能訓練等について指導助言を行います。 この巡回指導は、就学前及び就学後の一貫した指導を行うため、定期的・継続的な制度として行っています。
対象	発達障害の診断を受けている園児・児童・生徒	主として肢体不自由のある園児・児童・生徒
回数	計3回(申し込み年度2回、次年度1回※) ※年長、小6、中3で申し込んだ場合、次年度の巡回は原則ありません。	年間1~2回
内容	【20分間の観察】 通常学級、支援学級等本人の課題がよりわかる場面で設定  【50分間の相談・指導助言】 個別の連絡票と参観の様子を基に具体的な支援についての助言	【45分間の協議・指導助言】 PT、OT、STが教職員や保護者などから相談を受け、身体の状態の確認等を通して訓練方法等について指導助言を行う。  【指導例】 ・姿勢保持のための体幹トレーニング方法 ・お箸をもてるようにするための手の機能訓練方法 ・絵カードを使用した言語訓練方法